

令和4年度 農山漁村振興交付金(農福連携対策) 事業実施主体 評価一覧

1. 事業評価の実施

令和4年度に実施された「農山漁村振興交付金(農福連携対策)」の事業について、「農山漁村振興交付金(農福連携対策)実施要領」(平成30年3月28日付け29農振第2271号農林水産省農村振興局長通知)第15の2の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

2. 事業評価結果の総括

令和4年度に交付金事業を実施した19地区について、取組の実施状況、成果等を総合的に評価した。その結果、優良と認められる地区が14地区、総合的に低調と認められる地区が5地区との評価結果となった。総合的に低調と認められる地区に対しては、重点的な指導、助言等を行う。また、昨年度に重点指導の対象となっていた1地区については、重点指導の要因となった目標値に関する取り組みが精力的に実施され、目標の達成状況が改善されつつあるものの、上記の総合的に低調と認められる地区の5地区に含まれることから、引き続き重点的な指導、助言等を行う。

3. 各地区の評価結果

19件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階								評価	評価コメント	
				R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8			
九州	福岡県	久留米市	株式会社ONEGO	/	●	●★	■	/	/	/	/	/	A	主要な取り組みは、ほぼ計画どおりに実施され、事業実績の目標もおおむね達成し、実施体制もイチゴ栽培の専門農家及び地域の連携事業者、就労継続支援事業所等と連携・役割分担しつつ、取り組む体制となっていることから、総合的な評価はAとした。
九州	福岡県	みやま市	株式会社 愛菜華田中ファーム	/	●★	●	■	/	/	/	/	/	C	実施体制は、野菜の栽培から出荷まで3区分に分けて、責任者を配置。加えて、組織図を作成することで、障害者の責任感が醸成されるなど高く評価できる。しかし、計画していた取組の半分が実施できず、加えて、販売戦略が機能せず、売上が目標の4割以下であったことから、事業実績等を考慮し、総合的な評価はCとした。
九州	長崎県	佐世保市	社会福祉法人宮共生会	/	●★	●	■	/	/	/	/	/	C	主要な取組のうち2つについては、ほぼ計画どおりに実施されているが、スプラウトにんじくの生産の拡大と売り上げの増大にはつながっていない。このため、目的としている障害者の就労拡大及び工賃向上が道途上である。加えて、事業の目標年度である令和4年度において、雇用及び就労者数が46名で、事業着手前年の44名から2名の増加にとどまり、事業の要件である「事業目標年度までに5名以上増加すること。」が達成されていないことも含めて、総合的な評価はCとした。
九州	熊本県	熊本市	一般社団法人オルタナ	/	●	●	■	/	/	/	/	/	A	主要な取り組みは計画どおりに実施され、事業実績はどの指標も高レベルで達成し、実施体制も実務的に適切に構築されていることから、すべてA評価となっている。このため、総合的な評価もAとした。
九州	宮崎県	日向市	有限会社錦江	/	●	●★	■	/	/	/	/	/	A	主要な取り組みは、ほぼ計画どおりに実施され、台風被害によりミニトマトの収量が大きく減少する中、事業実績の目標はおおむね達成し、実施体制も地元の専門家及び地域の連携事業者、社内に新たに設立した就労継続支援事業所等と連携・役割分担しつつ、取り組む体制となっていることから、総合的な評価はAとした。

九州	宮崎県	西都市	株式会社CoCoRoファーム	/	● ★	●	■ ◆	/	/	/	/	/	A	主要な取り組みは計画どおりに実施され、事業実績の目標もおおむね達成し、実施体制も地域農業者及びグループ内福祉事業所等と連携・役割分担しつつ、取り組む体制となっていることから、総合的な評価はAとした。
九州	鹿児島県	阿久根市	合同会社グッドフィールド	/	● ★	●	■ ◆	/	/	/	/	/	A	主要な計画はほぼ計画どおりに実施されるとともに、状況変化に応じて新たな取り組みを始めるなど取組状況は高く評価できる。また、事業実績の目標もおおむね達成し、特に雇用及び就労は、200%で、事業開始から16人も増加している。実施体制も、状況変化に応じて体制を強化しており、総合的な評価はAとした。
九州	鹿児島県	龍郷町	株式会社リーフエッジ	/	● ★	●	■ ◆	/	/	/	/	/	A	農福連携の労働対価として得た奄美の果物等を原料に、ジェラート等の加工販売という6次産業化により、外仕事、食品加工、販売、商品デザイン・ECサイト構築などを障害者の適性を見極め作業をチーム制により取り組み、結果として、奄美大島の内外の18箇所ジェラート等の販売を行うまでに拡大し、かつ、一般就労希望者を安定雇用するために農業法人を設立するなど大きな成果を上げていることから、総合的な評価はAとした。
九州	福岡県	福岡市	フィールドアップITN.株式会社	/	● ★	● ▲ ▼	□ ◇	/	/	/	/	/	C	令和3年度末に、現地の担当者が急遽退職し、その後、体制立て直しのため後任担当者を配置し、関連団体等と連携・調整しつつ、農福連携担当スタッフの補充(求人広告やハローワークへの登録など)に取り組んでいるができていない。こうした中、実施方法を工夫して農福連携に係る活動に取り組んでいるが、現体制では工夫にも限度があり、事業実績がC評価に止まっている。このため、総合的な評価はCとした。
九州	福岡県	柳川市	株式会社 SoiL	/	● ★	●	□ ◇	/	/	/	/	/	A	事業実績はB評価であるが、これは農福連携整備事業により整備したビニールハウス等の完成時期の遅れに伴い、イチゴ栽培期間の減少、イチゴの収穫時期が遅れ、イチゴの販売期間が短期となったこと等が主な要因であり、計画した取組はおおむね計画どおり実施されるとともに、これらの取組を進める実施体制も役割分担を明確にし、十分に機能していること等から総合的な評価はAとした。
九州	長崎県	長崎市	社会福祉法人出島福祉村	/	●	●	□	/	/	/	/	/	A	地域との一層の連携による農福連携の拡大を目指しているものの、実施体制に地域農家や地域の就労支援施設等が加わっていないため、実施体制はB評価であるが、主要な取り組みは計画どおりに実施され、事業実績の目標も達成している点は評価できるので、総合的な評価はAとした。
九州	熊本県	南阿蘇村	株式会社南阿蘇ケアサービス	/	● ★	●	□ ◇	/	/	/	/	/	A	主要な取り組みは計画どおりに実施され、事業実績の目標もおおむね達成し、実施体制も地元の専門家及び地域の連携事業者、社内の就労継続支援事業所等と連携・役割分担しつつ、取り組む体制となっていることから、総合的な評価はAとした。
九州	熊本県	錦町	合同会社あぐり税所	/	●	●	□	/	/	/	/	/	C	第2四半期後半から連携団体の離脱や外部専門家の入れ替わりにより、十分な取り組みができないとともに、雇用及び就労の要となる就労支援事業所が外れたこと及び昨年度からの就労者の体調不良から、事業開始前の水準以下に落ち込んでおり、総合的な評価はCとした。
九州	熊本県	錦町	社会福祉法人豊心の里	/	●	●	□	/	/	/	/	/	C	主要な取り組みは計画どおりに実施されているが、成果である障害者用の飼養管理マニュアルは、内容が希薄・貧弱であり、取組の質に大いに問題がある。加えて、実施体制は、要となる外部専門家等が年度途中で幾度も入れ替わるなど機能しておらず、総合的な評価はCとした。
九州	大分県	大分市	社会福祉法人博愛会	/	● ★	●	□ ◇	/	/	/	/	/	A	事業実績はB評価であるものの、実施体制は法人内部の各事業所及び地元農業法人等との連携により盤石であり、取組状況もすべてa判定のA評価であることから、総合的な評価はAとした。
九州	大分県	宇佐市	社会福祉法人明峰会	/	● ★	● ★	□ ◇	/	/	/	/	/	A	売上げは減少しているものの、生産管理システムの導入により、作業効率が高まり、経営収支は改善するなど事業効果は発現しつつある。加えて、施設整備により就労環境も改善され、雇用及び就労も増加しているなど事業目的の達成に向けて着実に前進していることから、総合的な評価はAとした。

九州	鹿児島県	奄美市	株式会社ライトハウス	/	/	● ★	●	□ ◇	/	/	/	A	事業実績はB評価であるが、目標の9割近い達成状況であるとともに、主要な取り組みは計画どおりに実施され、実施体制は、取組推進の要となる高床砂栽培に関する技術指導を先駆的取組企業から受け、農園責任者の下に、専門支援員3名を配置する等機能的な体制であることから、総合的な評価はAとした。
九州	鹿児島県	南大隅町	社会福祉法人白鳩会	/	/	● ★	●	□ ◇	/	/	/	A	計画した取組はほぼ計画どおり実施しており、特にGAP取得等に向けた研修などを通じた豚の飼養環境及び利用者や職員の作業状況の把握を基に、飼養環境及び就労環境の改善に成果を上げるなど高く評価できる。また、地域の林業会社における就労体験の実施と林福へも意欲的に取り組んでおり、豚肉加工部門の新規販路を確保するなど大きな成果を上げ、事業実績の目標も達成し、実施体制も計画どおりに整備されていることから、総合的な評価はAとした。
九州	熊本県	益城町	株式会社ピアサポート	/	/	● ★	○	□ ◇	/	/	/	A	計画していた取組のうち、先進地視察及びイチゴ栽培技術の習得については、年度前半における新型コロナウイルス感染症の状況等から、実施回数が計画どおりではなかったものの、イチゴ栽培用ハウス及び機械装置等の整備は計画どおり終了し、イチゴ栽培に係る雇用及び就労は目標以上に進んでいることなど、総合的な評価はAとした。

(注1) 「事業実施段階」の凡例: ソフト事業 ○…交付対象年度(計画) ●…交付対象年度(実施済) □…目標年度(計画) ■…目標年度(実施済)
ハード対策 ☆…交付対象年度(計画) ★…交付対象年度(実施済) ◇…目標年度(計画) ◆…目標年度(実施済)
重点指導 ▼…重点指導(通知) △…重点指導(結果報告予定) ▲…重点指導(結果報告)

(注2) 「評価」の区分: A…優良 B…良好 C…低調 評価対象外…評価対象外

4. 第三者機関の意見聴取

農山漁村振興交付金(農福連携対策)実施要領(平成30年3月28日付け29農振第2271号農林水産省農村振興局長通知)第15の3の規定に基づき、第三者機関である「農山漁村振興交付金(都市農村交流等)評価委員会」を組織し、評価に当たり意見の聴取を行った。評価委員会の委員及び開催概要は以下のとおり。

【評価委員会 委員】

委員長:松添 直隆(熊本県立大学教授)

委員:須川 一幸(株式会社地域振興研究所長)、高木 三鈴(元熊本県職員)

【令和●年度評価委員会の開催概要】

第1回評価委員会

- 1 日時:令和5年7月10日(月) 13:30~16:00
- 2 場所:熊本地方合同庁舎 A棟10F 農政第7会議室
- 3 議事概要
 - ① 令和4年度評価対象地区の評価方法について
本年度の評価方法について、説明を行い了承を得た。
 - ② 令和4年度評価対象地区の評価及び取組状況について
令和4年度に事業を実施した19地区の、取組概要、評価案及び第2回評価委員会予定等について説明し、質疑応答を行った。
- 4 主な意見
 - 農福連携対策の総合評価で、A評価とC評価に二極化しているのは、事業実績、特に売上げの達成状況が要因のようであるが、事業を継続させるためには売上げを伸ばすことが必要で、売上げ目標について申請時のチェックリストの中で、売上げの根拠を明確に確認しておくことが重要。
 - 他の補助事業では、採択審査の段階で、金融の専門家が審査委員として参画し、経営面から見た計画の持続性を審査している例もある。
 - 一方で、農福連携は障害者等の就労拡大などが大きな目的であり、売上げの達成状況だけに注目した評価もやや違和感がある。
 - 計画に位置付けられた目標値の達成状況が、評価時の事業実績の評価とされ、その他の評価事項(取組状況、実施体制)より優先され、総合評価がC評価となるケースでは、取組の頑張り度を救えるような評価方法が検討できないか。

第2回評価委員会

- 1 日時:令和5年8月2日(水) 13:15~15:30
- 2 場所:有限会社 ひまわり亭 研修室
- 3 概要
 - ・第1回評価委員会における質問への回答及び評価結果案
令和4年度に事業を実施した19地区の評価案等に関して、了承を得た。
また、今年度の評価対象外ではあるが、昨年度に重点指導対象となっていた1地区の重点指導結果に関して、了解を得た。
- 4 主な意見
 - 農福の実施者においては、自らの取組にとらわれがちなので、参考となる他者の取組についても見えるようにした方が良い。そういう情報も教えていくことも必要ではないか。